

継続事業評価シート(対象:H28年度実施事務事業)

H29年度評価

事務事業名	農業振興支援事業				事務事業コード	02805	
部名	市民環境部	課名	産業振興課	係名	農業振興係	部課コード	030200

1. 事業概要

総合計画コード	5731	5612	5614	5732	
事業年度	年度 ~ H 年度		事業類型	<input checked="" type="radio"/> ソフト事業	<input type="radio"/> ハード事業
法令等の義務付け	<input checked="" type="radio"/> 法令等(市条例・要綱等を除く)で義務付けられている事業 <input type="radio"/> 義務と任意の両方を含んでいる事業 <input type="radio"/> 任意(市条例・要綱等を含む)の自治事務			<根拠法令等(法律、条例、要綱など)> 農業経営基盤強化促進法、農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想、朝霞市農業関係補助金等の交付に関する要綱など	
めざす目的成果	農業の収益性を高める取組みや担い手の育成を支援するとともに、農業経営の施策を計画的に進め、都市農業の利点が最大限に発揮され、地産地消等が推進されている。農業体験事業等を通じて、市民と農家の交流により地域農業に対する相互理解が深まっている。				
事業内容	・農業後継者育成視察研修会及び女性農業後継者育成研修会を実施する。(各1回) ・緑肥種子の無料配付を行う。 ・地場野菜振興事業費補助金等の補助金を交付する。 ・災害発生時の農業関係被害調査を実施する。 ・農業体験の実施(5回) ・農業情報誌の発行(年1回) ・農業者を認定農業者に認定する。				
事業手法	<input type="checkbox"/> 市の完全な直営 <input type="checkbox"/> 委託等(請負、負担金、交付金等を含む) <input checked="" type="checkbox"/> 市民等との協働 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <small>・農業後継者育成視察研修会及び女性農業後継者育成研修会を協働で実施する。 【補助金】農業近代化資金利子補給補助金、農業推進団体補助金、農産物共選共販事業費補助金、家畜伝染病予防事業費補助金、地場野菜振興事業費補助金、農業用廃プラスチック等収集処理事業費補助金、農業近代化設備事業費補助金、都市農業推進協議会補助金、環境保全型農業推進事業費補助金、地産地消推進事業費補助金、経営所得安定対策推進事業費補助金</small>				

2. 実施結果

H28年度の事業の実施内容		・農業後継者育成視察研修会及び女性農業後継者育成研修会を各1回実施した。 ・緑肥作物種子の無料配付を行った。 ・地場野菜振興事業費補助金を始めとした各種農業補助金を交付した。 ・農業関係被害実態調査を実施した。 ・田植え、じゃがいも掘り、稲刈り、さつまいも掘りの農業体験を実施した。 ・農業情報誌「フレッシュ朝霞」を11月に発行した。				
		単位:千円	H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算見込	
投入コスト	a 事業費[イ]~[ホ]		5,399	5,790	7,803	
	財源内訳	[イ]国庫支出金				
		[ロ]県支出金	130	110	110	
		[ハ]地方債				
		[ニ]その他				
	[ホ]一般財源	5,269	5,680	7,693		
	b 人件費	5,862	6,229	5,496		
	総コスト(a 事業費 + b 人件費)	11,261	12,019	13,299		
投入労働量		常勤職員等(人工)	0.80 人	0.85 人	0.75 人	
		一般職非常勤職員等(時間)	時間	時間	時間	
a 事業費(H28年度決算見込)の執行内訳		・旅費 38千円 ・需用費 530千円 ・負担金、補助及び交付金 7,235千円				
指標名		単位	H28目標・計画 (H28実績見込)	H29目標・計画 (H29実績見込)	H30目標・計画 (H30実績見込)	最終目標・計画 目標年度
活	① 研修会等の開催回数	回	2	2	2	H 32 年度
			(2)	(—)	(—)	
動	② 農業体験の開催回数	回	5	5	5	H 32 年度
			(4)	(—)	(—)	
成	① 研修会等の参加者数	人	35	35	35	H 32 年度
			(25)	(—)	(—)	
果	② 農業体験の参加人数	人	1,260	1,260	1,260	H 32 年度
			(988)	(—)	(—)	

3. 事務事業の分析

必要性 (市が関与する必要性はあるか)	判定	<input checked="" type="radio"/> A 必要性が高い	<input type="radio"/> B 必要性がある程度認められる	<input type="radio"/> C 必要性が低い
		<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> サービスの拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、市に実施が義務付けられている <input type="checkbox"/> 市が実施しないと、市民生活に深刻な影響が生じる <input checked="" type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で難しい <input type="checkbox"/> その他 <説明> 都市農業の振興を図るとともに、都市農地の多面的機能を地域資源として有効活用するため、また、農業体験事業等を通じて市民と農業者が交流し、地域農業に対する相互理解を深めるため、市が関与する必要がある。		
達成度 (事業の目標は達成したか)	判定	<input type="radio"/> A 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="radio"/> B 概ね目標の成果が得られた	<input type="radio"/> C 目標とする成果が得られなかった
		<input type="checkbox"/> 活動指標の目標を達成した <input type="checkbox"/> 成果指標の目標を達成した <input type="checkbox"/> 指標に表れない事項について目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> その他 <説明: 指標の達成状況及び改善等に関する達成状況を記入> 研修会は、参加者数が少ないことにより目標を達成できなかったが、視察した内容は参加者にとって有益なものとなった。また、農業体験は、生育不良によりにんじん掘り体験が実施できず、目標となる参加人数を達成できなかったが、多くの参加者からは好評であった。以上のことから、目標は達成できなかったが、担い手の支援や地域農業に対する相互理解を深めることができたと考え。		
留意点 (政策の立案・推進に際して)	<説明: 留意した点について記入>			
	思いやり: 障害がある方など、多くの方に農業体験をしていただくことができた。 参加と協働: 農業者と協力して多くの方が農業体験をすることで、地域農業に対する理解を深めることができた。 経営的な視点: 農業者への支援や農業体験事業を通じて、都市農業を推進することができた。			
見直し余地 (事業の内容、実施手法等は適切か)	判定	<input type="radio"/> I 見直す余地がない	<input checked="" type="radio"/> II 見直す余地がある程度認められる	<input type="radio"/> III 見直す余地がある
		<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 受益者負担のあり方について見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト圧縮の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 <説明> 研修会等については、引き続き実施時期及び内容等を検討していく必要がある。家畜伝染病予防事業補助金、地場野菜振興事業費補助金、農業近代化設備事業費補助金、環境保全型農業推進事業費補助金及び地産地消補助金については、今後も他市の制度を調査、勘案しながら補助水準を検討していく必要がある。		

4. 今後の展開方針[課としての判断]

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> A 市で継続実施 <input type="radio"/> B 休止・廃止 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> C 民営化 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> D 国・県に移譲 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> E 終了 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度まで <input type="checkbox"/> H29年度まで <input type="checkbox"/> H30年度まで)			
	成果の方向性	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
投入資源の方向性	事業費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
	労働費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
今後の取組方針	<input checked="" type="radio"/> A 見直して継続 <input type="radio"/> B 現状のまま継続			
	見直しの方向性	<input type="checkbox"/> 民間委託・PFI・指定管理者等を今後導入・拡大 (実施時期 : H 年度) <input type="checkbox"/> 業務プロセス改善 (実施時期 : H 年度) <input type="checkbox"/> 対象・水準等の見直し (実施時期 : H 年度) <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し (実施時期 : H 年度) <input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員等の活用を今後導入・拡大 (実施時期 : H 年度) <input type="checkbox"/> 市民等との協働を今後導入・拡大 (実施時期 : H 年度) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (実施時期 : H 年度)		
方針 (次年度の改善内容等を含めた具体的な事業の展開方針)	農業技術普及推進展示園設置事業について、近隣市の実施状況及び事業実施協力機関のさいたま農林振興センター等と協議・検討し、事業廃止を含めた見直しをしていく。研修会等について、実施時期及び内容等を検討していく。家畜伝染病予防事業補助金、地場野菜振興事業費補助金、農業近代化設備事業費補助金、環境保全型農業推進事業費補助金及び地産地消推進事業費補助金について、平成28年度と同様に実施するとともに、今後も他市の制度を調査、勘案しながら補助水準を検討していく。			